

京丹後市老人クラブ連合会だより

あじさい

第32号

2025.8発行



ふれあい料理教室の様子

主 な 内 容

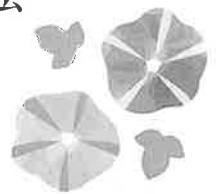
ごあいさつ	2
令和7年度評議員会	3
令和7年度京丹後市老人クラブ連合会 役員名簿	4
令和6年度 事業報告	6
令和7年度 事業計画	9
投稿コーナー	11
活動報告	13

ごあいさつ



京丹後市老人クラブ連合会

会長 吉岡 光義



最近、IT時代における高齢者の役割とは何か。老人の存在意義とは何か、というようなことを考えています。

そんな折、日曜の午後、久しぶりに空き時間ができたので録画してある映画を見ました。『PLAN75』、倍賞千恵子主演の映画です。近未来、超々高齢化社会を迎えた日本で、75歳以上の高齢者が自ら死を選ぶことができる制度が施行された。高齢者は早く死を迎えることで、国に貢献すべきだという風潮が社会の中に醸し出されてくる、というものです。さて、あなたならどうしますか。

高齢者の役割といえば、「桃太郎」や「舌切り雀」の時代から昭和の時代まで決まっていた。高齢者は智慧の宝庫であり、経験知の指導者でした。解らないことがあればお年寄りに聞けばよかったのです。

ところが、昭和の終わり頃からコンピューターというものが世間に流布しました。そして、ここ数年間で一気にIT革命が進みました。解らないことはパソコンやタブレットに尋ねれば即座に回答してくれます。高齢者が生きてきて積み重ねてきた知恵や経験知はもういらぬ時代がきたのです。

そんな時代の中で、高齢者や老人の存在意義は何だろうか。『PLAN75』の時代を私たちは生きているのだろうか。そうではないか。と思いたい。

人は誰でも年をとります。それでも生きていかねばなりません。産まれ、生きて、老いて、そして死んでゆくというのが私たちの定めです。いつ産まれ、いつ死んでゆくのかは神の手に委ねられています。私たちの手の内にあるのは、生きて老いてゆくことだけです。

IT時代における高齢者の役割とは、凛として老い、凛として死んでゆく姿を次の世代の者たちに伝えてゆくことではないでしょうか。なぜなら、誰も年をとって、誰も老人になるのですから。我が国は世界に先駆けて超高齢化社会を迎えています。あの中国でさえ高齢化社会を迎えているといわれています。いかなれば、世界が我が国の高齢者の生きざまに注目していると言えます。

そんな思いの中で、『葉隠』にある、生きる秘伝の言葉を紹介しておきたいと思います。「人間一生誠にわずかの事なり。好いた事をして暮らすべきなり。夢の間の世の中に、好かぬ事ばかりして苦を見て暮らすは愚かな事なり。この事は、悪しく聞いては害になる事ゆえ、若き衆などへ終に語らぬ奥の手なり」と。

もう一つ、徳川幕府最後の将軍、徳川慶喜の辞世の句。「とりわきていふべきふしはあらねども ただおもしろくけふもくらしつ」と。

ふと気がつけば、今年も半年が過ぎました。年月の流れの速さにあきれかえっています。心して、一日一日を暮らしてゆかねばと思っています。そして、一日一日を楽しく機嫌よく暮らしてゆきたいものです。それが、老いた者の務めではないでしょうか。

(令和7年6月記)



令和7年度評議員会開催



令和7年度評議員会を令和7年5月30日（金）に、峰山織物センターにおいて開催いたしました。

吉岡光義会長の開会のあいさつの後、網野支部の藤原新典評議員が議長となり、令和6年度事業報告（案）及び収支決算（案）、令和7年度事業計画（案）及び収支予算（案）の4議案を審議していたが、全て原案どおり可決されました。

令和7年度京丹後市老人クラブ連合会会長表彰者

また会議の冒頭、永年にわたり老人クラブ活動にご尽力されている18名の方に、市老連会長表彰（功労者彰）をお贈りいたしました。

網野支部	吉寿会	下岡老人クラブ第一天寿会	港浦島会	東大路浦島会	琴和会	丹後支部	後ヶ浜クラブ	是安オールドメンバー	久美浜支部	仲町老人会（仲よし会）	土居老人会（緑寿会）	向町松江会	神谷老人会	畑老人クラブ	品田老人会	芦原老人会	野中老人クラブ	女布老人クラブ	田村老人クラブ	長柄老人クラブ
野村 壽成	芦田 幸夫	永島 重春	吉岡弘之輔	宇野 貞夫	中江 純子	難波 澄雄	小林 憲彦	大場 耕作	古嶋 義春	谷口 昇	田中 和雄	小堀 賢	西田 嘉一	小幡 重雄	小國 芳直	野田 克己	富澤 幸代			

表彰基準…会長表彰規程第2条及び第4条第3号に該当

（敬称略）

「京丹後市老人クラブ連合会」の名称調査を実施

全国の老人クラブの会員数は年々減少してきています。市老連も設立当時6,500人余りいた会員が、令和7年度には1,144人になっています。

高齢者人口は増加しているのに、老人クラブの会員数は増えていません。

その要因の一つに、高齢者世代の意識の変化により「老人クラブ」という名称に、抵抗感があるとの意見も聞かれます。

そこで、本市老連の単老会長さんに「京丹後市老人クラブ連合会」という名称の改変について、どう思っているのか、をお聞きするアンケート調査を実施しました。その結果をお知らせします。

実施日 令和7年1月10日
対象者 単位老人クラブ会長（65名）
回答数 56
回収率 86.1%



- 改名をしたほうがいい。（14名 25%）（理由）
- ・地区自治会では敬老会をシニア同窓会とし、若い人が参加しやすい雰囲気を作っている。
- ・元気の活ある名称がいい。
- ・時代遅れの名称。社会のお荷物的なイメージ。現役世代に負けない体力、知力、気力をもつて社会のために働きたいと思うシニア世代の意欲が削がれる。
- ・老人という名称がイメージダウン。「老人」を「シルバー」に変更。
- ・もっと若々しい感じや、生き生きしたイメージのもの。
- ・「老人」という名称が、加入促進への耳障りな感じがする。
- ・令和の時代、名称も変更しては。
- ・老人を対象としたクラブですが、爽やかな名称にしては。
- ・60代の人に「老人会」に加入してはと言ひ憎い。
- ・いい名前があれば。
- ・昔と違って定年後でも体力、気力、健康状態が充実

役員名簿

(敬称略)

理事

役員人数11名

会長(理事)	吉岡 光義	久美浜支部長
副会長(理事)	野村 正彦	網野支部長
副会長(理事)	野波雄二 郎	丹後支部長
副会長(理事)	小谷 実	弥栄支部長
副会長(理事)	小森 明美	女性委員長
理事	安達 徳一	久美浜副支部長
理事	吉岡 崇	網野副支部長
理事	難波 澄雄	丹後副支部長
理事	梅田昭二 郎	弥栄副支部長
理事	梅田 豊則	網野支部
監事	今田 博	久美浜支部

女性委員会

役員人数8名

網野支部 委員長	山崎喜代枝
副委員長	谷口 早苗
丹後支部 委員長	中江 純子
副委員長	吉岡 幸子
弥栄支部 委員長	紀平 孝枝
副委員長	梅田 洋子
久美浜支部 委員長	小森 明美
副委員長	川原 哲子

評議員

評議員数15名

鈴木 斉志	松 寿	会 網野支部
梅田 豊則	福 寿	会
藤原 新典	元 町 浦 島 会	会
芦田 幸夫	下岡第一天寿会	会
前田 和夫	浜 詰 松 寿 会	会
谷 良夫	古間西老人クラブ	丹後支部
森口 茂樹	古間東老人クラブ	会
金羽 廣明	成願寺老人クラブ	会
溝尻 武	い つ き 会	会
川戸 文江	やさかシニアクラブ	弥栄支部
今田 博	新町区新生会	久美浜支部
田中 和雄	畑老人クラブ	会
小幡 重雄	野中老人クラブ	会
小國 芳直	女布老人クラブ	会
角田 正明	壱分クラブ	会

若手委員

野波雄二郎 丹後支部

事務局

事務局長 山崎 淳之

しており、年寄り(60歳)との自覚もない。後期高齢となる年齢を過ぎてから、多小、自覚するのでは。60代、70代は老人ではない。老いてますます元気・充実感のある名前を。

○改名をしなくてもいい。(40名 71%)
(理由)

- ・解散や加入者の減少は、名称ではなく他にも原因がある。
- ・名称にこだわらない。
- ・このままでいい。
- ・改名しても入会者が増えるとは思えない。
- ・名称で会員が増えるのか疑問、活動内容が大切。
- ・老人であることに間違いない。名前を変えても老人は老人。
- ・馴染みの名称で問題ない。分かりやすい。
- ・一目見たらわかる団体名で、これでよいと思う。
- ・大変良い名称です。
- ・改名が会員増に繋がるとは思えない。いつまでも若いままでいられない老人であるという自覚が必要。
- ・老人には間違いない。
- ・「老人会」から「老人クラブ」に改名し、スマートになり馴染みやすくなった。
- ・名称が悪くて入会しないのではなく、役員がしたくないから。
- ・老人であることに、誇りを持ちたいから。
- ・日本語を大切にしたい。

○どちらでもよい(2名 4%)

老人クラブ(市老連・支部・単老等)に対する意見等

- ・お茶をしながら日常の事柄を話すことで、一人暮らしや老人世帯では味わえない気分転換の場を、月に数回、設けている。(単老)
- ・市老連会員を対象とする交流は多人数になるし、単老では大変なところもあり、何かひと工夫が欲しい。(市老・支部)
- ・市老連の強いリーダーシップを希望する。(市老連)。
- ・支部単位での、現代にマッチした各種講座、研修会等の開催。(支部)
- ・会員減少は青年団や婦人会がなくなってきたと同じ

単位老人クラブ会長

網野支部

吉寿会(住吉)	野村 壽成
陵寿会(御陵)	山崎 慶子
幸寿会(上小路)	吉岡 崇
松寿会(桃山)	鈴木 齊志
長寿会(長田)	安井 英二
福寿会(福田)	梅田 豊則
第一天寿会(下岡)	芦田 幸夫
第二天寿会(下岡)	吉岡 隆幸
第一砂丘会(北大路)	野村 正彦
第二砂丘会(北大路)	川浪 将義
第三砂丘会(北大路)	新谷 知央
港浦島会	永島 重春
元町浦島会	藤原 新典
旭浦島会	井本 勝己
東大路浦島会	足立 享之
大昭西浦島会	尾崎 信夫
大昭東浦島会	浜岡美代子
栄浦島会	齋藤 佳子
湖秀会(小浜)	片山 稔朗
琴和会(掛津)	宇野 貞夫
浜詰松寿会	前田 和夫

丹後支部

古間東老人クラブ	野波雄二郎
古間西老人クラブ	三山 潤子
谷区老人クラブ	蒲田 俊治
後ヶ浜老人クラブ	中江 純子
向地老人クラブ	久保 雅幹
小泊老人クラブ	池田 栄
成願寺老人クラブ	金羽 廣明
徳光長寿クラブ	岡崎 恭仁
大山老人クラブ	田宮 孝市
是安オールドメンバー	難波 澄雄
たかのえびす会	大下 省三
いつき会	溝尻 武
願興寺老人クラブ	野木 啓一

弥栄支部

やさかシニアクラブ 小谷 実

久美浜支部

仲町老人会	小林 憲彦
土居老人会	大場 耕作
向町松江会	古嶋 義春
新町新生会	今田 博

神谷老人会 谷口 和之

口馬地緑寿会 安達 徳一

法沢クラブ 長尾 国顯

畑老人クラブ 田中 和雄

金谷老人クラブ 川原 哲子

出角老人会 安達 勇一

新庄老人クラブ 西山 清記

橋爪区もみじ会 安達 保男

品田老人会 小堀 賢

芦原老人会 西田 嘉一

安養寺老人クラブ 岡田 昂

野中老人クラブ 小幡 重雄

円寿会 山中 一生

長坂老人クラブ 能勢 茂

女布老人クラブ 小國 芳直

丸山老人クラブ 田中 文江

佐野シニアクラブ 浮網 進

老分老人クラブ 角田 正明

田村老人クラブ 野田 克己

長柄老人会 和田 純子

鹿野老人クラブ 松本早津男

甲山シニア 西津栄一郎

湊宮老人クラブ 吉岡 光義

(敬称略)

ように、時代の流れかも。老人会が魅力的な組織で、入会してないと損をすると感じられるような支援があればと思う。(市老連、支部・行政)

・補助金の使途をゆるくしてほしい。(行政)

・事務作業(補助金、調査)を簡単にしてほしい。(行政)

・会員数に応じた補助金額の見直しを。30人以下は36、500円に。(行政)

・高齢者の楽しみは飲食。補助金の対象を一考願いたい。(行政)

・役員の成り手がない。夜間、遠方への移動等が困難になりつつある。老人会より下の世代の集まりがなく、地域での交流がないことが会員増加に繋がらない。(単老)

・補助金の増額。(行政)

・高齢者の外出活動にマイクロバスの利用ができるような支援を。(行政)

・活動会員に応じた補助金配分は難しいか。会員が増加した場合、補助金の増額は望めるか。(行政)

・会員対象のアンケート調査や討議による意識の明確化。市、議会を巻き込んだ活動と運営。(市老連)

・一律の補助金ではなく、平等割と均等割にならないのか。(行政)

・改名より活動内容を知ってもらうことが大事。(市老連・支部・単老)

・世話役の負担は大きい。誰かが先にたつてやらなければ何もできない。(単老)

・機関紙で老人クラブの良さをPRしてもらう。(市老連)

・横の繋がりを深めるため、まずは役員交流会の実施を。(支部)

改名について貴重なご意見ありがとうございました。調査結果は「改名はしなくてもよい」との意見が多くありましたので、今しばらくは現在の名称のままとしたいと思います。

また市老連や支部、行政への要望等も沢山いただきました。補助金に関する要望につきましては国の制度との関係で難しい面もありますが、活動の参考にさせていただきます。

なお、重複するご意見等はまとめさせていただきます。なお、重複するご意見等はまとめさせていただきます。

その他の活動

近畿ブロック関係

近畿ブロック老人クラブリーダー研修会

〈日 時〉令和6年6月27日(木) 〈場 所〉京都府民総合交流プラザ(京都テルサ)
 〈参加者〉238名(本市2名 吉岡光義会長、野村正彦副会長)
 〈内 容〉基調報告「老人クラブの現状と課題」(講師)全老連参事 河野 敦子氏
 講 演「超高齢社会を生きぬく条件」(講師)大谷大学名誉教授 山下 憲昭氏

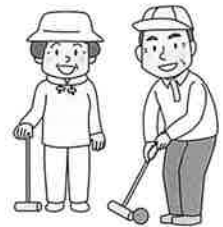
分 科 会

- ①健康づくりの推進～フレイル予防を目指して～
- ②友愛活動の推進～孤独化、孤立化を防ぐ～
- ③会員増強の取組み～組織の活性化を目指して～
- ④他団体との協働～地域共生社会の実現を目指して～

府老連関係

(1) 丹後ブロック女性リーダー研修会

〈日 時〉令和6年9月13日(金) 〈場 所〉アグリセンター大宮 多目的ホール
 〈参加者〉99名(本市38名)
 〈内 容〉講 演「認知症を学び みんなで考える」
 (講師)京丹後市長寿福祉課 田中 佐妃子保健師
 郊外研修 和久傳の森・安野光雅美術館 見学



(2) 第14回丹後ブロックグラウンド・ゴルフ交流大会

〈日 時〉令和6年9月24日(火) 〈場 所〉滝グラウンド・ゴルフ場
 〈参加数〉24チーム(本市6チーム)

(3) 第45回京都府老人クラブ大会

〈日 時〉令和6年10月9日(水) 〈場 所〉京都府民総合交流プラザ(京都テルサ)
 〈参加者〉6人
 〈内 容〉第1部 表彰式 府老連会長表彰(育成功労者表彰) 森口 茂樹氏(丹後支部)
 第2部 講 演 「老人クラブ発! “つながり”で築く…活き・生き・元気な地域づくり」
 (講師) 近所福祉クリエイター 酒井 保氏

(4) 令和6年度若手リーダー研修会

〈日 時〉令和6年11月6日(木) 〈場 所〉ハートピア京都
 〈参加者〉90人(本市4名)
 〈内 容〉講 演「クラブを盛り上げるニュースポーツの活用」
 (講師)フレンドリー情報センター 西尾 和久氏
 ニュースポーツ体験(モルック・トリコロキューブ・バッコ)

市老連関係

【赤い羽根共同募金配分事業】

〈網 野 支 部〉グラウンド・ゴルフ大会(R6.6.24、R6.9.27)、ペタンク大会(R6.7.4)、ワナゲ大会(R6.11.12)
 〈丹 後 支 部〉ワナゲ大会(R6.7.8、R6.11.21)、グラウンド・ゴルフ大会(R6.10.21)
 〈弥 栄 支 部〉未実施
 〈久美浜支部〉グラウンド・ゴルフ大会(R6.9.24)

【京丹後市老人クラブ連合会長表彰】

老人クラブ活動にご尽力された次の方を表彰いたしました。
 谷 良夫氏(丹後支部)



令和6年度活動報告

会員の皆さまのご理解とご協力により、計画していた令和6年度事業も概ね実施することができました。

健康づくり事業として実施しているグラウンド・ゴルフ大会及び公式ワナゲ大会では、会場となる支部の皆さんに設営準備等をお世話になりました。お陰さまで両大会とも多くの方に参加していただき盛り上げていただきました。

支部においてもグラウンド・ゴルフ大会やワナゲ大会、ゲートボール大会、日帰り旅行、カラオケ大会など、健康づくりや生きがい事業に取り組み、また、単老クラブでは神社や公民館などの清掃作業による奉仕活動や子ども達の登下校時の見守りなど、地域に密着した活動に取り組んでいただきました。

この他、市老連では、府老連主催の老人クラブ大会や市町村リーダー研修会、近畿ブロックリーダー研修会に参加し、また丹後ブロック事業のグラウンド・ゴルフ交流大会では、他市町老連の会員と交流を図ることができました。

令和6年6月3日と8月22日に中山市長、所管担当職員らとの懇談会を開催し、老人クラブの現状や課題等について知っていただくとともに、継続的な支援を依頼しました。

また、年度末には会員加入促進活動として、単老クラブ会長を対象に「市老連の名称変更について」のアンケート調査も実施しました。

主な事業

(1) 健康づくり事業

【市老連】第11回京丹後市長杯グラウンド・ゴルフ大会

〈日 時〉令和6年10月1日(火) 〈場 所〉八丁浜シーサイドパーク(網野町)
〈参加数〉23チーム(132人)

【市老連】第6回公式ワナゲ大会

〈日 時〉令和6年12月5日(火) 〈場 所〉網野体育センター
〈参加数〉36チーム(180人)

【網野支部】健康日帰りウォーク(R6.5.29) 淡路島国営明石海峡公園

【弥栄支部】未実施

【丹後支部】健康日帰りウォーク(R6.11.15) 敦賀気比神社等

【久美浜支部】親睦ゲートボール大会(R6.4.24、R6.9.27、R7.1.8)、カラオケ大会(R6.10.24) ワナゲ大会(R7.1.30)、日帰りバス旅行(R6.11.14) 兵庫県立歴史博物館



(2) 啓発・広報広聴事業

機関紙「あじさい」は、会員相互の情報提供を図る重要な媒体です。

市老連、支部、単老クラブの活動や会員からの紀行文などを掲載し、全会員に配布しました。

○第30号 令和6年8月(1,600部)

○第31号 令和7年1月(1,600部)

(3) 友愛訪問活動事業

女性委員会役員がお守り(健康長寿お守り)を200個作成し、うち50個を下記の施設に訪問しお届けしました。残りは、本市で開催された府老連丹後ブロック女性リーダー研修会参加者への土産として活用しました。

〈弥栄町〉特別養護老人ホーム満寿園(R6.12.9(火))

(4) 世代間交流事業 未実施

(5) 市老連リーダー研修会

ニュースポーツの講習会を計画していましたが、同様の事業が府老連(若手委員会)で開催され、その事業に参加したため中止しました。

令和6年度京丹後市老人クラブ連合会収支決算書

令和6年4月1日(自)～令和7年3月31日(至)

【収入の部】

(単位：円)

科 目	予算額 (A)	収入済額 (B)	差引増減額 (B)-(A)	摘 要
1. 繰 越 金	636,270	636,270	0	前年度繰越金
2. 会 費	328,900	328,900	0	5,060円×65単老＝
3. 市 補 助 金	5,698,592	5,424,353	△ 274,239	
市老連活動促進事業	281,192	281,192	0	194,000円+(72円×1,211人)＝
単 老 活 動 事 業	3,026,400	3,005,730	△ 20,670	46,560円×64単老+25,890円(1単老)
特 別 事 業				
友愛訪問活動事業	60,000	43,945	△ 16,055	健康長寿お守りづくりと施設訪問
世代間交流事業	60,000	0	△ 60,000	未実施
健康づくり事業	520,000	420,000	△ 100,000	グラウンド・ゴルフ等 (大宮支部解散・弥栄支部未実施)
啓発・広報広聴事業	420,000	377,920	△ 42,080	広報紙の発行
事 務 局 員 賃 金	1,200,000	1,200,000	0	事務職員賃金
市老連運営事業	131,000	95,566	△ 35,434	バス等公共交通機関使用料
4. 市社協共同募金配分助成事業	175,000	150,000	△ 25,000	赤い羽根共同募金配分助成(網野・丹後・久美浜支部×50,000円、弥栄支部未実施)
5. 府老連負担金収入	357,500	357,500	0	5,500円×65単老＝
6. 雑 収 入	738	30,443	29,705	預金利息、借上バス助成金、ソーメン回転還元金等
合 計	7,197,000	6,927,466	△ 269,534	

【支出の部】

(単位：円)

科 目	予算額 (A)	支出済額 (B)	差引増減額 (A)-(B)	摘 要
1. 事務局費	1,538,000	1,484,691	53,309	
事 務 局 員 賃 金	1,200,000	1,200,000	0	事務職員賃金(1人分)
備 品 購 入 費	20,000	0	20,000	
消 耗 品 費	30,000	20,619	9,381	用紙、ファイル等事務用品
通 信 運 搬 費	70,000	74,818	△ 4,818	電話、郵便料他
印 刷 製 本 費	50,000	50,402	△ 402	コピー代等
委 託 料	0	0	0	印刷機保守料
手 数 料	3,000	3,245	△ 245	負担金等振込料他
使 用 料	80,000	81,060	△ 1,060	市老連事務所使用料他
光 熱 水 費	15,000	11,287	3,713	事務所灯油代等
修 繕 費	20,000	0	20,000	
旅 費	50,000	43,260	6,740	事務局長会議等
2. 会 議 費	125,500	100,257	25,243	
理 事 会	12,000	22,434	△ 10,434	費用弁償
評 議 員 会	30,000	20,911	9,089	費用弁償等
各 種 委 員 会	80,000	54,912	25,088	費用弁償等
会 計 監 査 費	3,500	2,000	1,500	費用弁償
3. 活 動 費	645,000	447,300	197,700	
バ ス 借 上 げ 料 等	395,000	286,700	108,300	府老連研修会・丹プロ事業参加等
活 動 費	200,000	132,000	68,000	各種研修会費用弁償等
研 修 会 等 負 担 金	50,000	28,600	21,400	近畿ブロック事業等
4. 特別事業費	1,110,000	851,964	258,036	
友愛訪問活動事業	70,000	43,945	26,055	お守りづくり材料費
世 代 間 交 流 事 業	70,000	0	70,000	
健 康 づ くり 事 業	530,000	430,099	99,901	市老連グラウンド・ゴルフ大会等、支部事業
啓発・広報広聴事業	430,000	377,920	52,080	広報紙2回発行
市老連リーダー研修会	10,000	0	10,000	
5. 能登半島地震災害救援拠金	50,000	39,072	10,928	
6. 社協助成金事業	175,000	150,000	25,000	3支部配分
7. 府老連負担金	357,500	357,500	0	5,500円×65単老＝
8. 単老活動補助金	3,026,400	3,005,730	20,670	46,560円×64単老+25,890円(1単老)
9. 予 備 費	169,600	0	169,600	
合 計	7,197,000	6,436,514	760,486	

収入支出残額 490,952円を次年度に繰り越す。

令和7年度事業計画



京丹後市老人クラブ連合会は、62クラブ、1,144名の会員を擁する高齢者を代表する組織として、一人ひとりの生きがいと健康長寿をめざし「健康・友愛・奉仕」の全国三大運動を基本に活動を進めていきます。

2025年は団塊の世代の者が75歳を迎え、5人に1人が後期高齢者となります。人生100年時代を迎える中、高齢者同士が共に支え合う友愛活動や健康づくり事業を進めるとともに、会員一人ひとりが未加入者への地道な声かけによる「会員増強運動」を展開し、新しい仲間づくりを進めます。

健康づくり事業では、令和7年度もグラウンド・ゴルフ大会や公式ワナゲ大会を実施し、高齢者の生活機能の低下、フレイル（虚弱）予防に役立てます。

友愛活動事業は、女性委員会が中心となり高齢者施設入居者への慰問活動を進めてきましたが、新たな活動も模索し、女性委員会の強化を図ります。

このほか、京都府老人クラブ大会や各種研修会、丹後ブロック事業に参加していきます。

主な事業

(1) 健康づくり事業

○市老連「第12回京丹後市長杯グラウンド・ゴルフ大会」

〈日 時〉令和7年10月15日（水） 予備日17日（金）

〈場 所〉久美浜中央運動公園（久美浜町永留） 〈参加数〉24チーム（144人）

○市老連「第7回公式ワナゲ大会」

〈日 時〉令和7年11月中旬 〈場 所〉網野体育センター

〈参加数〉未定



(2) 啓発・広報広聴事業

機関紙「あじさい」を発行し、クラブの活動状況を掲載することで情報の共有化を図ります。単位クラブ、支部活動の報告紙面として活用し、仲間づくりに役立ててください。

(3) 友愛活動事業

独居老人等を対象に、触れ合い料理教室を計画しています。女性委員会の事業としていますが、男子会員も参加型の事業とし、女性委員会の強化を図ります。

(4) 行政懇談会の実施

老人クラブの発展は、行政当局の理解と支援が不可欠であり、今年度も実施していきます。

京都府老連の主な会議・事業等

○府老連女性・若手委員会総会	R 7.4.24	京都市
○近畿ブロックリーダー研修会	R 7.6.26	神戸市
○市町村老連リーダー研修会	R 7.7.16	京都市
○女性リーダー研修会	R 7.9.10	京都市
○第46回京都府老人クラブ大会	R 7.10.8	京都市
○若手委員会リーダー研修会	R 7.11.19	京都市



丹後ブロック市町老連主催「第15回グラウンド・ゴルフ交流大会」

〈日 時〉令和7年9月24日（水） 予備日なし 〈場 所〉八丁浜シーサイドパーク（網野町）
〈参加数〉24チーム

令和7年度京丹後市老人クラブ連合会収支予算書

令和7年4月1日(自)～令和8年3月31日(至)

【収入の部】

(単位：円)

科 目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	比較増減額(A)-(B)	摘 要
1. 繰越金	490,952	636,270	△ 145,318	前年度繰越金
2. 会 費	313,720	328,900	△ 15,180	5,060円×62老=
3. 市補助金	5,400,088	5,698,592	△ 298,504	
市老連活動促進事業	276,368	281,192	△ 4,824	194,000円+(72円×1,144人)=
単老活動事業	2,886,720	3,026,400	△ 139,680	46,560円×62単老=
特別事業				
友愛活動事業	60,000	60,000	0	ふれあい料理教室
世代間交流事業	0	60,000	△ 60,000	休止
健康づくり事業	470,000	520,000	△ 50,000	グラウンド・ゴルフ大会、ワナゲ大会等
啓発・広報広聴事業	420,000	420,000	0	広報紙の発行
事務局員賃金	1,200,000	1,200,000	0	事務局員賃金
市老連運営事業	87,000	131,000	△ 44,000	鉄道、バス借上げ料
4. 市社協共同募金配分助成事業	0	175,000	△ 175,000	助成制度の改正により支部毎に申請
5. 府老連負担金収入	341,000	357,500	△ 16,500	5,500円×62単老=
6. 雑収入	240	738	△ 498	預金利息等
合 計	6,546,000	7,197,000	△ 651,000	

【支出の部】

(単位：円)

科 目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	比較増減額(A)-(B)	摘 要
1. 事務局費	1,521,000	1,538,000	△ 17,000	
事務局員賃金	1,200,000	1,200,000	0	事務職員賃金
備品購入費	10,000	20,000	△ 10,000	
消耗品費	30,000	30,000	0	事務用品、用紙他
通信運搬費	75,000	70,000	5,000	郵送料、電話料、他
印刷製本費	50,000	50,000	0	コピー代等
手数料	3,000	3,000	0	振込料他
使用料	80,000	80,000	0	老連事務所使用料他
光熱水費	13,000	15,000	△ 2,000	事務所灯油代
修繕費	10,000	20,000	△ 10,000	事務機器類他
旅費	50,000	50,000	0	事務局員等旅費
2. 会議費	88,000	125,500	△ 37,500	
理事会	15,000	12,000	3,000	費用弁償等
評議員会	20,000	30,000	△ 10,000	費用弁償等
各種委員会	50,000	80,000	△ 30,000	費用弁償等
会計監査費	3,000	3,500	△ 500	費用弁償等
3. 活動費	470,000	645,000	△ 175,000	
バス借上料等	270,000	395,000	△ 125,000	府老連老人クラブ大会等参加
活動費	150,000	200,000	△ 50,000	各種研修会費用弁償等
研修会等負担金	50,000	50,000	0	近畿及び丹後ブロック事業等
4. 特別事業費	980,000	1,110,000	△ 130,000	
友愛活動事業	70,000	70,000	0	料理教室
世代間交流事業	0	70,000	△ 70,000	休止
健康づくり事業	480,000	530,000	△ 50,000	市老連グラウンド・ゴルフ大会他
啓発・広報広聴事業	430,000	430,000	0	広報紙2回発行
市老連リーダー研修会	0	10,000	△ 10,000	
5. 能登半島地震災害救援拠金	0	50,000	△ 50,000	
6. 社協助成金事業	0	175,000	△ 175,000	各支部での対応
7. 府老連負担金	341,000	357,500	△ 16,500	5,500円×62単老=
8. 単老活動補助金	2,886,720	3,026,400	△ 139,680	46,560円×62単老=
9. 予備費	259,280	169,600	89,680	
合 計	6,546,000	7,197,000	△ 651,000	

投稿コーナー

〃縁は異なもの〃

——青春時代の忘れがたい思い出——

網野支部 掛津琴和会 宮 本 肇 童

私は昭和19年4月、日本が世界大戦たけなわの時代、旧制宮津中学校に入学、昭和20年の終戦の年に、2年生に進級した1学期の終わり頃、私たちのクラスに、松本という男子学生が転入してきた。クラスの人数が多かったせいもあり、私はその松本とは一度も話すこともないうちに、夏休みに入りました。

終戦直後の社会混乱の中で、夏休みが終わり、2学期の始めに、こんどは私が家庭の事情で、母方の遠縁にあたる叔父を頼って、今まで全く知らない愛知県の寺へ預けられることになりました。

長く住なれた故郷を離れて、遠い愛知県の中学校に転校していくことは、本当に寂しく、不安いっぱいの中で、叔父に連れられ、当時、愛知県の挙母（ころも）町（現在は豊田市）の

挙母中学校の2年生のクラスに転入しました。

何もかも未知の学校で、不安にかられている中、最初の一時間目の授業が終わると、5人の男子生徒が私を取り囲んで、その中の1人が「宮本、お前はどこの学校から転校してきた。」と、問いかけられました。私は恐るおそる、「京都府の宮津中学校からきた。」と答えました。すると、その仲間の1人が「実は、松本というこのクラスにいた俺たちの仲間が、1学期の終わりに、お前が来た宮津中学校へ転校して行つた。」と言つのです。

私は一瞬強い驚きを禁じ得ませんでした。ほとんど同じ時期に、お互い未知の松本と私の2人が、遠く離れた学校を入れ替わつていたので。

昔から、「縁は異なもの……という諺（ことわざ）があります、その諺どおりです、不思議な縁が起きるものだ、と思い、このことは、今でも若き青春時代の忘れ難い思い出になっています。

この縁のおかげで、私は5人の仲間入りをさせてもらい、学校にも次第に慣れていききました。〃縁は異なもの、不思議なもの、そして味なもの〃



網野支部 浜詰松寿会 岩 本 佐 仔 子

浜詰松寿会では、基本目標とする健康活動や奉仕活動に加え、親睦活動も毎年会員の要望に応じて実施しています。

ここでは、令和6年度と令和7年度上半期の活動を紹介させていただきます。

当クラブは発足から65年以上の長きにわたり、先輩方のご努力のおかげで現在につながり、会員数38名で活動しています。昨年度は、研修旅行をかねて城崎マリンワールド水族館に行きイルカショーなどを楽しみ、また伊根湾周遊の旅では、カモメたちへカップパ海老煎の餌やりをしたりして、童心に帰り楽しみました。

親睦旅行は2回行っていますが、近年、足の弱い会員が多くなり、遠方へ出かける研修は控え、近場で親睦を深める事業が多くなってきました。令和6年度の敬老会では、会員有志による合唱を披露し、地域の高齢者に大変喜んでいただき、多大の拍手を受けました。

当クラブの奉仕活動は、年に3回の墓地清掃に加え、網野町の古代遺跡、堅穴式住居の除草作業も老人会が請け負っています。

健康活動については、月2回の輪投げ教室を開いて、互いに研究しながら実力向上を目

指して掛け声は良いが、おしゃべりが多く、実力の向上は？の状況。それでも仲間たちは、わきあいあいと、いろいろな大会を目指して楽しんでいきます。その成果のお陰かな、去る6月23日実施された令和7年度の支部大会には、10名の参加者があり、この大会が初めての会員もいました。成績はともかく、楽しく大会に参加ができたことは良かったと思います。

令和7年度の独自事業としては、鳥取の砂の美術館に研修旅行として行きました。今年は日本がテーマの造営でしたので、日本の過去の歴史と、現在を身近に対比して、思考し意義深い研修であったと思います。又、浦富海岸遊覧船に乗船し、リアス式海岸の島々の美しさと、海の青さ美しさを堪能、心も洗われました。先輩方が築かれた松寿会が絶えることなく、浜



城崎マリンワールド水族館にて

ことなく、浜詰の誇れる組織として栄えてゆくことを切に願っています。お互いに、同年齢の仲間同士で健康長寿につながるお手伝いが出ればと願っ

ています。仲良し最高、好きなこと言って、笑って、最高の仲間のお陰です。これこそが人と人との交わり長寿の根本ではないと思います。この頃、仲間がいるということこそ大切なことだと確信しています。ありがたいです。

行ってきました

ラベンダー公園

丹後支部 難波 澄雄

私たちは旧豊栄小学校区の単位老人会で豊栄老人クラブを作っています。

各単位老人会の連携を深めるため、一つの組織体を形成し年間事業を進めています。総会、役員会、年間事業を計画し交流しています。毎年、6月頃には日帰り研修を計画し実施しています。

今年は、令和7年6月17日に丹波篠山のラベンダー公園に行ってきました。参加者は19名で、午前8時半にマイクロバスで旧豊栄小学校の下を発車、丹波篠山を目指します。

午前11時には公園に到着しました。早めの昼食を済ませて公園内を散策。ちなみに入園料は団体割引で四百円でした。この公園は地元、多加知地区が経営しておられるのと、と。ラベンダーの花づくりは難しいそう、梅雨明けには枯れてしまう花も多く、困っておられました。



ラベンダー公園には施設や設備も整っており、大きな喫茶店や休憩所もありました。満開には少し早かったようですが、山一面のラベンダーはきれいに咲いていました。

ラベンダーは傾斜面に植えてあり坂の上から見るのがきれいです。イングリッシュラベンダーとかフレンチラベンダーとか、かなりの種類があるそうです。

午後1時半に公園を後にして帰路につきました。途中、春日インター近くの道の駅「おばあちゃんの里」に立ち寄り休憩、お土産の買い物時間もとりながら、午後5時前に無事



活動報告



このように複数のクラブが共同し事業を実施することで、単位クラブの活動が維持されることにもなりますので、みなさんのところでも参考にしていただければと思っています。

網野地区の6つのクラブで構成する榮寿会が、令和6年度の秋の事業として11月28日に、姫路城と好古園の見学ウォークを実施しました。

ご存じのとおり姫路城は別名白鷺城とも言われ、近年天守の保存修理が終わり、以前にもまして白壁のコントラストが美しいお城になっています。

また好古園では、静寂な雰囲気の中でお抹茶席に参席、日常では程遠い貴重な経験をされた方も多くおられたかと思えます。この他、お菓子製造工場「ござそうろ」の工場見学も行った参加者らは、秋の一日を楽しく過ごしていました。

会員の高齢化により単位クラブのみでは事業の実施が難しくなってきたところもあるのではないかと思います。

網野支部だより

帰ってきました。

行き帰りのバスの中での「おしゃべり」も楽しくて、皆さん大満足のようでした。

毎年、多くの方がこの事業を楽しみにされており、来年は篠山地方の「ゆり園」を計画しています。



令和7年度単位老人クラブ数と会員数

(各年度4月1日現在) [単位：人]

支部名	クラブ数		会員数		令和7年度会員内訳	
	R6年度	R7年度	R6年度	R7年度	男性	女性
網野	21	21	360	359	109	250
丹後	13	13	339	320	155	165
弥栄	1	1	33	32	11	21
久美浜	30	27	479	433	180	253
計	65	62	1,211	1,144	455	689
前年比		△3		△67	△42	△25

令和7年度単位老人クラブの年齢別・男女別の構成

[単位：人]

		60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～	合計
網野	男	0	6	19	26	26	18	14	109
	女	5	11	19	58	77	47	33	250
丹後	男	0	17	40	41	34	18	5	155
	女	0	5	26	50	41	25	18	165
弥栄	男	0	0	1	4	6	0	0	11
	女	0	0	4	5	10	1	1	21
久美浜	男	4	10	30	44	38	37	17	180
	女	0	7	34	56	54	47	55	253
合計	男	4	33	90	115	104	73	36	455
	女	5	23	83	169	182	120	107	689
	計	9	56	173	284	286	193	143	1,144

「ふれあい料理教室」を開催



市老連女性委員会が令和7年度の友愛活動事業として、令和7年6月23日(月)に弥栄地域公民館でふれあい料理教室を開催しました。

1人暮らしの方や男性を対象としたもので、この日は丹後と弥栄支部の会員が参加しました。三角巾、マスク、エプロン姿になった参加者らはグループに分かれ、用意された食材を使い主食、副採、汁物を調理。トマトやニンジンに飾り包丁を入れたり、出し汁の味を確認したり、米はブレンド米、古古米、それとも備蓄米かな、といったり、ワイワイガヤガヤと楽しんでいました。

ふれあい料理教室 季節の野菜を使い誰れでもできる料理

成立 15分 主食 豆腐めし 副菜 煮込みハンバーグ旬の野菜を使用 汁物 若布と玉子のおすまし

主 食

豆腐めし

食材 米 1升
豆腐 大2丁
液口しょうゆ 80cc
濃口しょうゆ 80cc
酒 80cc
だし鰯魚 70g

作り方

- ① 豆腐は水切っておく
- ② 1cm四方程度に切る
- ③ 熱湯の中に②を入れる。沸き上がるまで茹でる

A の調味料で煮る
(最初に大さじ1の油で炒めてもよい(豆腐) 鰯魚だしをとる 豆腐を別にすり潰りの煮汁 水かげん

ご飯が炊き上がる20分まえにあげた豆腐を入れる

副 菜

煮込みハンバーグと旬の野菜を使って

食材 ハンバーグ(市販のもの) ①を煮込む
ケチャップ
酒
みりん

②新玉ねぎの 菊花ゴマドレ

新玉ねぎを八等分に切れ目を入れる
下まで切り離さないで、それをサランラップでくるみ、レンジであたため 4から5分
柔らかく出来たらお皿に盛り好みの
胡麻ドレッシング、ポン酢等々かける

③キャベツ千切り人参の花型甘煮 キャベツ 1玉 人参 4本

④ちくわのキュウリ詰め ちくわ小さい4本入り だしで煮ておく
果物をそえる 人参4本を花型抜き 甘煮

⑤すまし汁 若布 玉子 かまぼこ
鰯魚 50g



慣れた手つきかな？



ワナゲもしました

調理室のコンセントに不具合があり、お米がうまく炊けなかったりすることもありましたが何とか完成。出来上がった料理をみんな試食しながら、自己紹介や今の老人クラブに思うこと、感じることをなどを話し合い、食事後は、即興にワナゲ大会も開催し、食とスポーツを組み合わせた友愛活動となりました。

この秋には、網野と久美浜支部会員を対象に実施する予定です。

編集後記

令和7年度の機関紙「あじさい32号」を発行します。みなさんからの記事が紙面を充実したものにしてくれました。多くの投稿をお願いします。

さて、みなさんが老人クラブに加入されたきっかけはなんでしたか。

多くの方は年齢が来たから、友達が誘ってくれたから、リタイア後の仲間づくりをしたかったからといった理由ではないでしょうか。中には地域社会への恩返しを、と思って加入された方もおられると思います。そして、そこでは同じような年齢の人達と話をしたり、遊んだり、食事をしたり、旅行にいたりして、満足とはいえないまでも、そこそこ楽しんでおられると思います。

さて、最近の高齢者、老人クラブに加入できる年齢になった方は、老人クラブをどのように感じられているのでしょうか。

自分は若い、老人クラブという名称が年寄り臭い、何をするとかわからない、などといったところではないのでしょうか。

一昔に比べると生活環境は格段に向上し、今の高齢者は心身ともにバイタリティーになっています。また、社会経済の環境も大きく変化し、老人クラブの入会年齢がきたから加入しようかな、といった考え方はなくなってきたり、加入する方も増えています。

これでは、ますます会員は減る一方で、年齢層も高くなり、活動の低迷と役員の成り手不足から解散といった状態にも繋がっていきます。会員の減少は全国の老人クラブが抱える問題であり、本市においても同様です。

新規会員を増やすためにはどうしたらよいのでしょうか。魅力ある活動や情報提供、自治会との連携協力が挙げられています。勧誘の声掛けが一番効果的だと思います。もしも、加入するきっかけを待っている人がいるかも知れません。

老人クラブは、これからも高齢者の健康・生きがい・仲間づくりの場として必要な存在です。

みなさん、身近にいる未加入者の方へ、一言、勧誘の声掛けをお願いします。

(事務局)

随時、原稿を募集しています。

「あじさい」では、会員皆様からのお声をお届けする投稿コーナーを設けています。俳句や短歌、写真、近況報告、身近な出来事・感じた事など何でも結構です。原稿は各支部長か市老連事務局へ。